

今月のトピックス

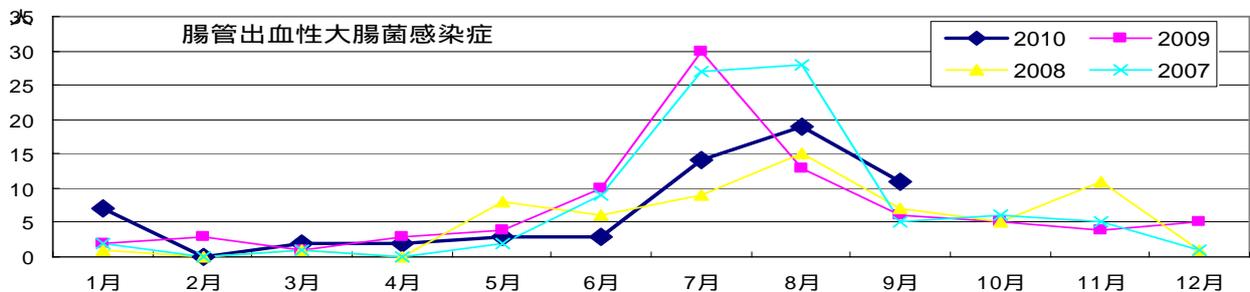
レジオネラの届出が4件ありました。1月からの報告数は 22 件で、昨年の報告数 16 件をすでに超えています。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が 11 件ありました。

夏季に流行が見られた、手足口病、ヘルパンギーナ、水痘、伝染性紅斑については、ピークも過ぎ、落ち着いています。

全数把握の対象

- 1 **細菌性赤痢**：9月の届出数は、30日現在で2件です。渡航地はスリランカとミャンマーでした。平成22年の届出は6件で、そのうち5件がアジアでの感染です。全国でも感染者の約8割はアジアでの感染と見られています。細菌性赤痢については、国立感染症情報センターHPをご覧ください。
<http://idsc.nih.gov/ja/iasr/30/358/tpc358-j.html>
- 2 **パラチフス**：9月の届出数は、30日現在で1件です。渡航地はインドでした。
- 3 **腸チフス**：9月の届出数は2件です。家族例(母子)で、母には渡航歴がありました。
- 4 **腸管出血性大腸菌感染症**：9月の届出数は、30日現在で11件です。例年夏に多く見られる疾患ですが、冬季も発生が認められていますので、肉の十分な加熱を引き続き心がける必要があります。



啓発用チラシ「O157に注意しましょう」も併わせてご利用ください。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/punf/pdf/o1572007.pdf>

- 5 **レジオネラ症**：9月は30日現在で4件の届出がありました。1月からの報告数は22件となり、既に昨年総報告数より増加しています。2007年より市内では増加傾向にあります(表参照)。レジオネラは、市中肺炎の起因菌として重要ですが、過去に、ジャグジーや入浴施設、冷却塔等での集団感染も報告されています。診断された際には、浴槽の種類や温泉、銭湯等の利用状況等を確認する事も重要です。

レジオネラ症の報告数の推移(2001年～2010年9月) 2010年は9月まで

| 年 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 全国 | 86 | 167 | 147 | 160 | 281 | 518 | 668 | 886 | 712 | 527 |
| 横浜市 | 0 | 3 | 2 | 1 | 8 | 7 | 28 | 32 | 16 | 22 |

全国のレジオネラ症の報告の傾向は <http://idsc.nih.gov/ja/iasr/29/346/tpc346-j.html> をご覧ください。

- 6 **梅毒**：9月は30日現在で3件の届出がありました。
- 7 **麻しん**：1件の届出がありました。インドからの輸入例と思われます。

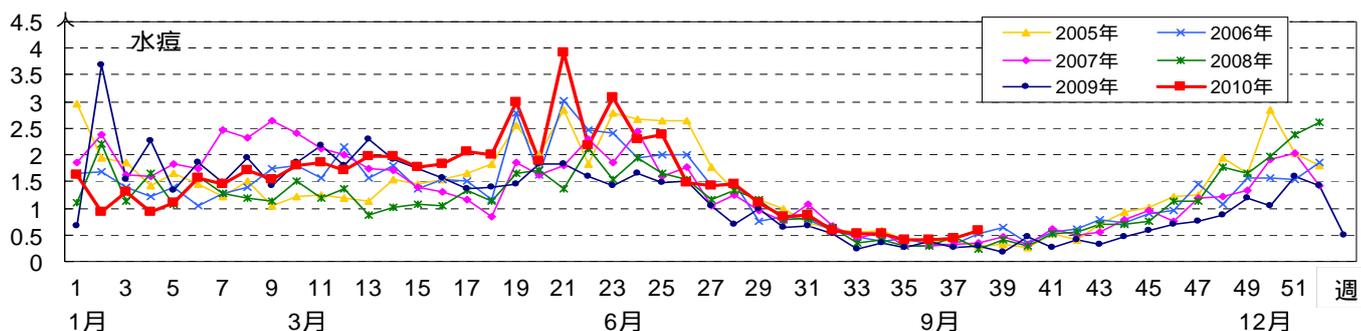
定点把握の対象

平成 22 年 8 月 23 日から平成 22 年 9 月 26 日まで(平成 22 年 第 34 週から第 38 週まで。ただし、性感染症については平成 22 年 8 月分)の横浜市感染症発生動向評価を、標記委員会において行いましたのでお知らせします。

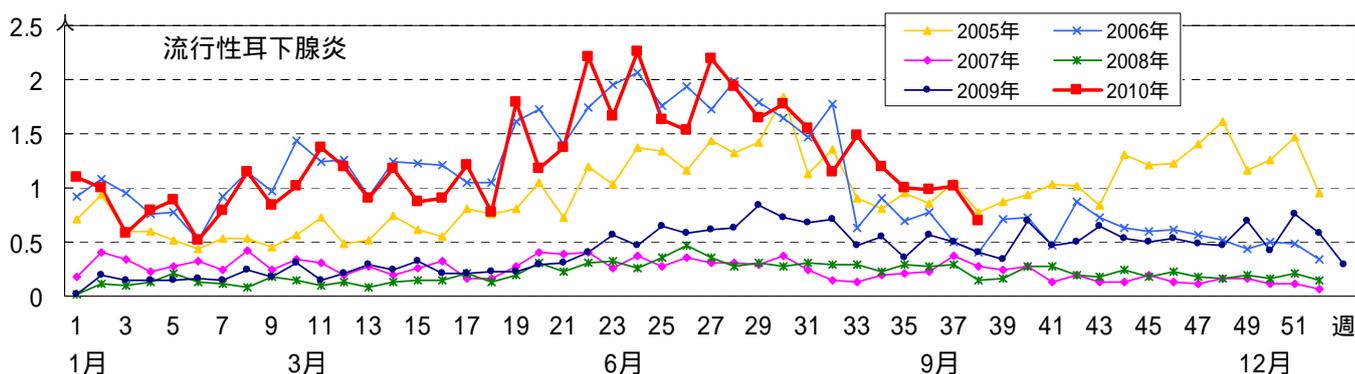
平成 22 年 週 - 月日対照表

| | |
|--------|-------------------|
| 第 34 週 | 8 月 23 ~ 29 日 |
| 第 35 週 | 8 月 30 ~ 9 月 5 日 |
| 第 36 週 | 9 月 6 ~ 12 日 |
| 第 37 週 | 9 月 13 ~ 9 月 19 日 |
| 第 38 週 | 9 月 20 ~ 26 日 |

- 1 **水痘**: 第 38 週では定点医療機関からの届け出あたり(以下定点あたりとする)0.59 です。神奈川県(横浜、川崎、相模原を除く。以下県域)では 0.29、全国 0.51 といずれも報告数は少ないですが、例年冬にかけて徐々に報告数が徐々に増えていきますので、今後の動向に注意が必要です。



- 2 **流行性耳下腺炎**: 第 38 週では定点あたり 0.70 です。県域 0.79、川崎市 0.61、東京都 0.36、全国 0.97 でした。例年夏季を中心に流行が見られますが、過去 5 年と比較しても高めに推移しています。



- 3 **インフルエンザ**: 第 38 週では定点あたり 0.03 です。県域 0.03、川崎市 0.07、東京都 0.07、全国 0.04 でした。病原体定点等からの検査では、A 香港型が 4 件 PCR 等で確認されています。

- 4 **性感染症**: 性感染症は、診療科でみると産婦人科系の 10 定点、および泌尿器科・皮膚科系の 17 定点からの報告に基づき、1 か月単位で集計されています。

8 月は、性器クラミジア感染症の報告数は男性 21 件、女性 18 件でした。性器ヘルペス感染症は、男性 4 件、女性 9 件です。尖圭コンジローマは男性 11 件、女性 4 件、淋菌感染症は男性 16 件、女性 2 件でした。

この感染症発生動向調査委員会報告とデータの詳細については、下記のホームページに掲載されていますので、他の記事と合わせてご覧ください。
 横浜市衛生研究所ホームページアドレス URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>